

新型コロナウイルス対応「新しい生活様式」に準じた活動プログラム

国立能登青少年交流の家

1 留意すべき基本原則

- (1) 国立能登青少年交流の家「新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」に則り、青少年団体に対して、安心・安全な活動プログラムを提供する。
- (2) ①密閉空間②密集場所③密接場面の3つの条件を避けることなど、自己の感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底する。
- (3) 標準活動時間を30分程度短縮し、利用団体は利用後に貸出用具の消毒作業を実施する。
- (4) このマニュアルは令和2年6月1日現在の状況に基づくものであり、今後、適宜更新する。

2 活動プログラムごとの感染防止対策

プログラム名	感染防止対策（変更点、追加事項）	活動後の消毒作業（利用団体）
野外炊飯	<ul style="list-style-type: none"> ・献立を「カレーライス」「豚汁」「焼きそば」に限定する。 ・定員80名。1団体のみとする。8班以内とし、1班あたり机を2台使う。 ・食事をする時以外は、マスクを着用する。 ・調理を始める前に、調理用具を全て食器用洗剤で洗う。 ・食事をする時は間隔を開けて座席を配置する。横並びを推奨する。必要に応じて第2ふれあいの広場を食事場所とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机 ・椅子 ・なた ・火ばさみ ・皮手袋
火おこし体験	<ul style="list-style-type: none"> ・定員48名。1セットにつき3名程度。 ・マスクを着用して活動する。 ・間隔を開けて座席を配置する。横並びを推奨する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出用具
そば打ち体験	<ul style="list-style-type: none"> ・定員20名（4名×5セット） ・食事をする時以外は、マスクを着用する。 ・食事をする時は間隔を空けて座席を配置する。横並びを推奨。 ・活動中は30分に1度、窓を開けて換気する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机 ・貸出用具
オリエンテーリング ウォークラリー ナイトアドベンチャー グリーンアドベンチャー 肝試し	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中はマスクの着用は必要ないが、職員の説明時や話合い時はマスクを着用する。 ・筆記用具や探検バッグ（バインダー）は各団体が持参する。 ・1m以上の間隔を空けながら班ごとに移動する。 ・ゼッケンは団体が持参する。準備できない場合は所ものを貸し出すが、使用後は洗濯し、返却する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出用具
キャンプファイヤー キャンドルせしめ	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着用して活動する。 ・活動中は間隔を空け、接触を伴うレクリエーション、対面や密集での発声は行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出用具
カッター	<ul style="list-style-type: none"> ・定員12名（中学生以下は不可） ・活動中はマスクの着用は必要ないが、職員の説明時はマスクを着用する。 ・大きな声でのかけ声は不可。 ・ホイッスル等を使って指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフジャケット
カヌー	<ul style="list-style-type: none"> ・定員24名 ・活動中はマスクの着用は必要ないが、職員の説明時はマスクを着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パドル ・ライフジャケット

いかだ体験	<ul style="list-style-type: none"> ・定員24名 ・活動中はマスクの着用は必要ないが、職員の説明時はマスクを着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パドル ・ライフジャケット
アーチェリー	<ul style="list-style-type: none"> ・定員30名 ・活動中はマスクの着用は必要ないが、職員の説明時はマスクを着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弓と矢
サイクリング	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中はマスクの着用は必要ないが、職員の説明時はマスクを着用する。 ・ゼッケンは団体が準備する。準備できない場合は所のものを貸し出すが、使用後は洗濯し、返却する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドル ・サドル ・ヘルメット
ディスクゴルフ	<ul style="list-style-type: none"> ・各班4名までとし、プレイヤー同士の間隔を空ける。 ・活動中はマスクの着用は必要ないが、職員の説明時はマスクを着用する。 ・筆記用具や探検バッグ（バインダー）は各団体が持参する。 ・ゼッケンは団体が準備する。準備できない場合は所のものを貸し出すが、使用後は洗濯し、返却する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスク
砂像づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中はマスクの着用は必要ないが、職員の説明時はマスクを着用する。 ・必要に応じてポット砂像（一人用）も可。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出用具
プール活動	<ul style="list-style-type: none"> ・定員20名 ・プール内、更衣室では3密にならないように各団体に工夫する。 ・活動中は窓を開けて換気する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出用具
スポーツ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中はマスクの着用は必要ないが、説明や話合いの時はマスクを着用する。 ・講堂や体育館内では3密にならないように各団体に活動を工夫する。活動中は窓を開けて換気する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出用具
創作活動	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を「利用の手引き」の半数とする。これを超える人数で活動する場合は、活動場所を分けて行うこともできる。 ・使用する研修室は、ガイドラインに則った定員とする。 ・マスクを着用して活動する。 ・間隔を空けて座席を配置する。横並びを推奨。 ・活動中は30分に1度、窓を開けて換気する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出用具 ・机 ・椅子
天体・星座観察	<ul style="list-style-type: none"> ・定員50名 	
座禅・正座体験	<ul style="list-style-type: none"> ・定員70名 	
和太鼓体験	<ul style="list-style-type: none"> ・定員50名 	

※ 屋外での活動やスポーツ活動では、熱中症対策としてマスクの着用は必要ないが、感染リスクを避けるように対策をとって実施する。

3 引率者の対応

- (1) 参加者の健康観察を十分に行い、体調がすぐれない参加者には活動を中止させる。
- (2) 参加者に対し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行わせる。なお、利用団体はアルコール消毒液を持参する。
- (3) 参加者に対し、活動中に大きな声で会話しないように指導する。

4 職員の対応

- (1) 職員は活動終了後、用具等を消毒する。
- (2) 指導職員は打ち合わせ時、活動中はマスクを着用する。